

神奈川県の学童保育

北国では吹雪が猛威を振るう酷寒の日が続いてはいましたが、2月ともなれば南関東の神奈川県では梅の花も咲く頃です。寒い日が続いても、暖かい春は確実に来ます。

厚労省は来年度の学童保育関連予算を発表しました。575億円の規模で、170%を超える増額です。しかし、福祉の分野で見ても、介護や健保、生保などには冷たい風が吹いています。政府の方向は、女性の労働力活用は進めるが「消費増税で福祉の充実」は片手落ちでは? 施策の改善は自然には進みません。皆さん、共に学童保育の明日を創りましょう。

2015年新春会長会を開催

～「日本の学童ほいく」普及拡大推進会議も同日開催～

去る1月12日(月)、海老名市民活動センターにおいて「新春会長会・拡大運営委員会」を開催しました。

晴天に恵まれた3連休の最終日(成人の日)でしたが、「各地域からの情報を得ながら、よりよい学童保育作りへのヒントも得たいと考えている。」という小神会長の挨拶に始まり、間もなく本格実施となる「子ども・子育て支援新制度」に向け、情報交換、交流を図ることができました。

すでに多くの自治体では、「設備・運営に関する基準条例」が議会で承認され、また「子ども・子育て支援事業計画」もほぼ決定しています。参加地域からは、指導員配置、施設の面積基準、定員の問題など、条例に絡む課題や市の対応について報告がありました。

また、「市連協を作りたい。民間と市の学童保育の垣根を越えて組織をつくるためのアドバイスが欲しい」という質問に対し、「公設も民間も、子どもたちの放課後をどうしたいかと真剣に考える仲間だからという思いで手を携えてきた」「個人だとクレームで終わってしまうものが、団体の力というのは大きく声が届きやすい」など各地域より経験を生かした回答がありました。

会長会と同日午前中、同会場にて「日本の学童ほいく」普及拡大推進会議を開催しました。

2010年3月からほぼ年に1回開催しており、全国学童保育連絡協議会(全国連協)編集部や編集委員をお呼びして様々なお話をお聞きしてきましたが、6回目となる今回は、全国連協事務局長からこの本の大切さなどを伺い、また横浜をはじめとする各地域から、普及や活用の取り組みについて交流をすることができました。



「第3回学童保育に関する勉強会」

主催: 神奈川県の学童保育を支える議員連盟

1月31日(土) 県庁本庁舎において、県内議員を対象とした「第3回学童保育に関する勉強会」が開催され、市町村議員83人(16市10町)、県会議員18人の参加がありました。

議員連盟牧島会長、吉川副知事、県連協小神会長の挨拶から勉強会がスタートしました。

1時間30分という短い時間でしたが、厚労省育成環境課竹中課長補佐より「子ども・子育て支援新制度における放課後児童クラブの充実」について資料を基に説明を受けました。

また神奈川県次世代育成課石渡課長より「放課後児童クラブに係る県の取り組み」について説明があり、特に今後の県の取り組みとして「認定研修・現任者研修の実施」「運営費・施設整備費等市町村への財政支援」の2つがあげられました。

県連協からも各地域の役員や指導員が参加し、議員、県担当課と共に同じ情報を共有する大変貴重な時間となりました。



指導員の支援員資格取得に関わる問題、新設・分割といった施設整備に関わる内容や適正規模化の問題など、新しい制度の中でも継続して取り組むべき問題は多数あります。「よりよい学童保育」について考えられる機会の重要性を認識した会となりました。

活動報告(12月～1月の主な活動報告)

12月5日(金) 12月度運営委員会	1月12日(月) 新春会長会・拡大運営委員会
12月7日(日) 全国運営委員会ブロック会議	1月14日(水) 第33回指導員交流会
12月8日・17日 かな研分科会世話人会議	1月16日(金) 1月度役員会
12月19日(金) 12月度役員会	1月18日(日) 厚労省説明会(全国連協主催)
1月7日(水) 2015年1月度運営委員会	1月21日(水) 県主催研修「保護者とのかわり」
1月12日(月) 「日本の学童ほいく」普及推進会議	1月31日(土) 学童保育に関する勉強会(議連主催)

♪ 地域連協だより ♪

綾瀬市連協より

綾瀬市市連協は、市内12クラブ全てが加盟して活動しています。

市内のクラブの多くは、民間のアパートや貸家を利用して保護者会運営で運営されています。条例の施設基準を満たしているクラブは少なく、施設の公設化を含め、施設整備が大きな課題です。また、指導員確保・資格研修への参加等問題は山積みです。しかし、長年市連協の活動に関わって来た会長を中心に、皆で力を合わせて頑張っています。

基地はあるけど駅は無い。ゆるキャラのブタッコリーは、隣の海老名のえび〜にゃほど有名ではないけどかわいい。のんびりした気質の綾瀬市ですが、熱い思いで日々活動しています。



今回の地域連協だよりは、綾瀬市と大和市からです。取り組みに工夫が感じられますね。

ところで、3月1日(日)は『第38回神奈川県学童保育研究集会』です。ぜひ、みなさん誘い合っでご参加ください!!

大和市連協より

大和市の学童保育クラブは、公設17と父母会運営2、その他NPO法人、社会福祉法人、株式会社のクラブがあります。連絡協議会は父母会運営の2クラブを中心に、個人会員として保護者OBや公設クラブ保護者、市議が参加しています。

加盟クラブ数は少ないですが、子ども子育て会議にも参画。また条例策定に伴い市の担当課と意見交換会を重ねて参りました。その結果、昨年12月市議会で予算が承認され、父母会運営2クラブは来年度も市の委託を受けて運営できることになりました。11月には担当課主催で公設と民営の指導員交流会が開催されています。

今後の課題は、加盟クラブや個人会員を増やすことです。幅広い意見を取り入れながら、市全体の子育て環境と保育の質の向上を目指していきたいと思えます。

次号の「地域連協だより」では相模原市と海老名市を予定しています。お楽しみに(^。^)/

<これからの予定>

3月1日(日) 第38回神奈川県学童保育研究集会(横浜市開港記念会館・通称「かな研」)

3月4日(水) 第34回神奈川県指導員交流会(県連協事務所)

3月6日(金) 2015年3月度県連協運営委員会(県連協事務所)

4月2日(木) 2015年4月度県連協運営委員会(県連協事務所)

※なお、県連協運営委員会は4月より毎月第1木曜日に開催します。(役員会は第3金曜日)

また、かな研の詳細は、県連協HP(<http://atdiary.jp/kanaken>)をご覧ください。